



50回の節目を迎えた
文化の祭典

10月26日・27日の2日間、「第50回鹿屋市文化祭」が開催されました。市中央公民館では書道・絵画・華道・俳句など874点が展示され、市文化会館では舞踊や着付、音楽など34団体が52演目を披露。最終日には、異なる文化団体が共演した豪華な特別ステージがあり、それぞれの芸術の魅力が輝き合う舞台上で観客を魅了していました。



中央地区商店街が
にぎわった秋祭り

10月27日、中央地区商店街で、「第41回鹿屋市秋まつり 歩行者天国」が開催されました。この日は、市出身のマジシャンCHUTAさんによるショーや、サンバ、フリーマーケットなどの催しがあり、周辺が歩行者天国に。同会場では「食と暮らしのマルクト@おおすすめ」や「北田新酒祭り」も催され、商店街一帯は一日中、多くの人でにぎわいました。



かぞく
犬猫との愛情を育む1日

10月27日、霧島ヶ丘公園で、「かごしま動物愛護のつどい2019」が開催され、愛犬と様々な種目に挑戦するドッグフェスティバルや、犬猫の譲渡会等が催され、多くの愛好家でにぎわいました。



専門の高所作業で
地域貢献活動

10月25日、市役所北側駐車場と霧島ヶ丘公園で、株式会社九電工と市内企業による高所作業車を使ったせん定や伐採がボランティアで行われ、ヤシの木がきれいに整えられました。



みんなで楽しんだ
高須の潮干狩り

10月14日、高須海岸で「高須の浜^{たかしろ}潮干狩り大会」が開催されました。秋晴れの空の下多くの家族連れが集まり、遠浅の海岸でハマグリ掘りや景観が当たる宝探しなどを楽しみました。



頭を使って
楽しく認知症予防

10月25日、江口盛男さん(新生町)から運動サロン「神野体操会」へパズルが贈呈されました。ペットボトルの蓋を順番に並べるもので、認知症の予防に活用してほしいとの思いが込められています。



花いっぱい
国体を盛り上げよう

10月19日、かのや東ロータリークラブの「花いっぱい運動」が行われ、霧島ヶ丘公園の噴水広場に、園児ら約50人が800株のピオラを植えました。12月には花が咲き、国体の炬火の形が現れる予定です。



課題の解決に向け
みんなで力を合わせて

10月20日、市中央公民館で、「地域共生・共育・共働の社会をめざすシンポジウム」が開催され、大隅地域の地域共生に関するパネルディスカッションなどで多くの意見が交わされました。